

総論① 人口

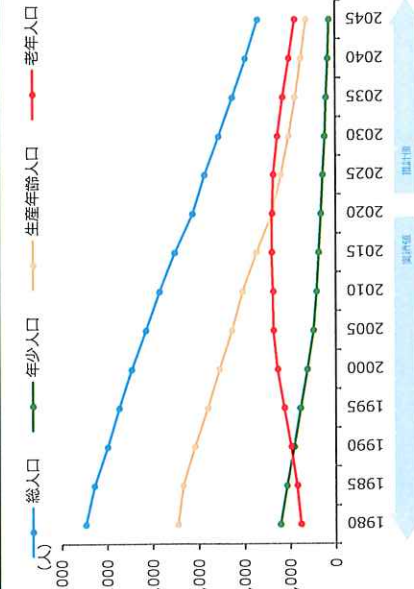
地域を考える基礎的な条件となる人口について、年齢階級別に推移を概観します。

熊本県芦北町

①人口推移

人口マツワ>人口構成 → ①「人口推移」

・総人口と年齢3区分別人口の推移を示しています。
 ・「総人口のピーク」「老年人口の増加傾向」等、自地域の人口変化の概要を把握できます。

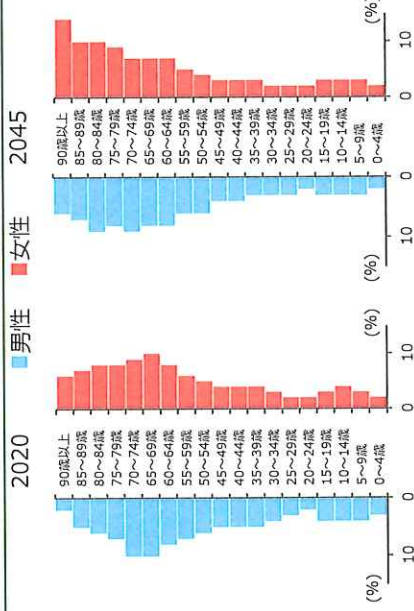


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づき推計値。

②人口ピラミッド

人口マツワ>人口構成 → ②「人口ピラミッド」

・男女別・5歳階級別にピラミッドで表示しています。
 ・将来の高齢層の大きさ、生産年齢人口の減少等も視覚的に把握することができます。

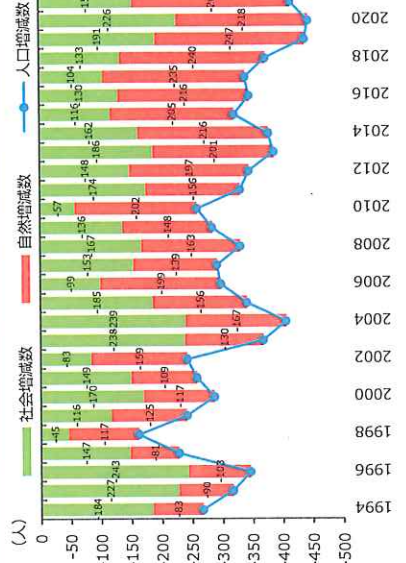


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づき推計値。

③自然増減・社会増減の推移

人口マツワ>人口構成 → ③「増減を表示」

・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。

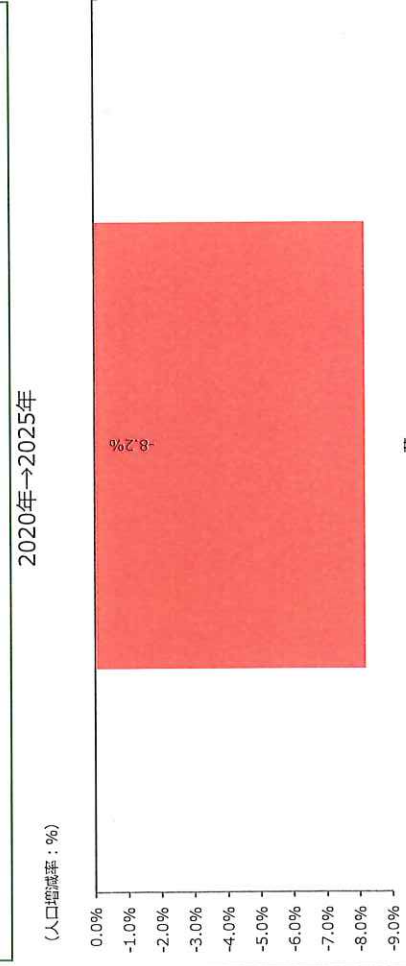


【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工
 【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年度データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

④人口増減率の比較

人口マツワ>人口構成 → (グラフデータより作成)

・人口増減率について、自地域の水準を把握することができます。
 ・人口増減の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。



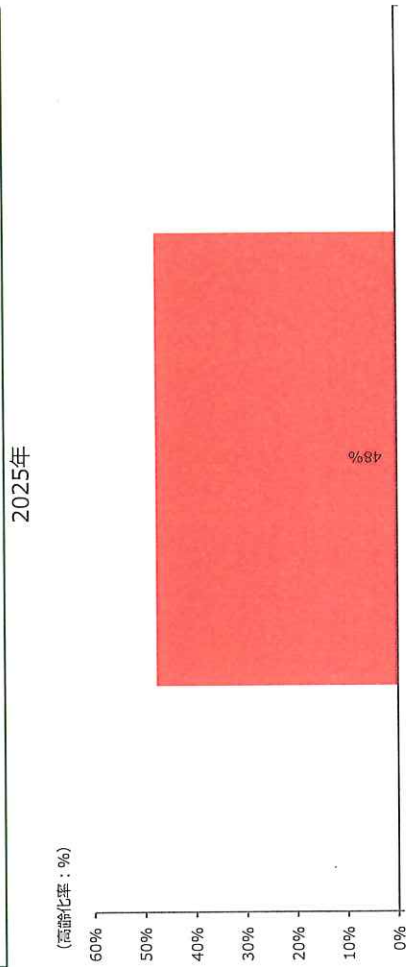
芦北町

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 ※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

⑤高齢化率の比較

人口マツワ>人口構成 → (グラフデータより作成)

・高齢化率について、自地域の水準を把握することができます。
 ・高齢化の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。



芦北町

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

各論② 産業特性（製造業）

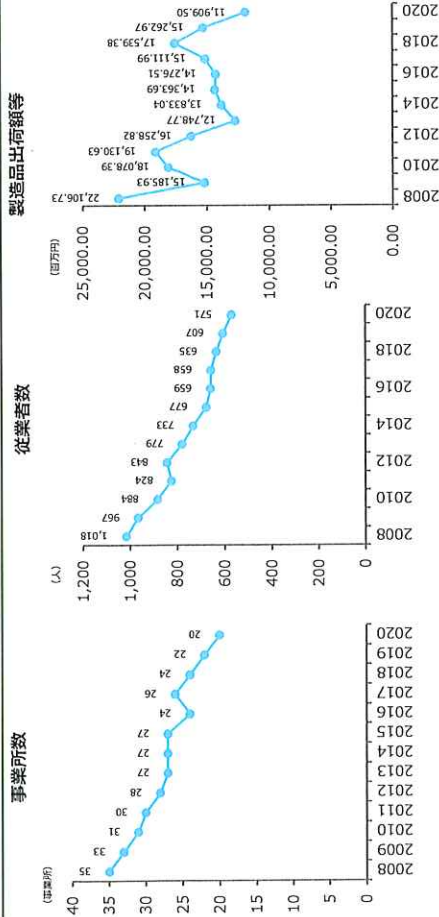
製造業の特徴を、規模・稼ぐ力・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

熊本県芦北町

① 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

産業構造マップ>製造業>製造業の概観 → ①「時系列グラフで分析」

・製造業全体の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移を概観します。

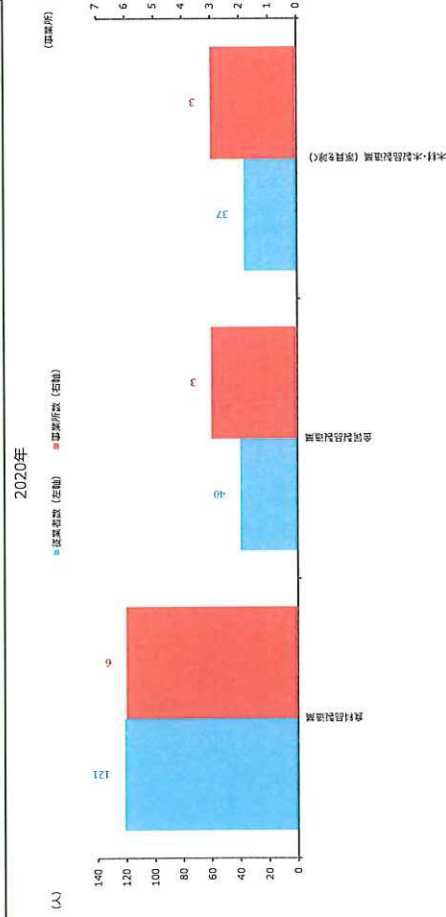


【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

③ 産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>製造業>製造業の概観 → ③「時系列グラフで分析」 → (ダウンロードデータは作成)

・自地域における製造業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。
・従業者数が多く事業所数の少ない産業は、一般に大規模工場等の存在する産業となります。



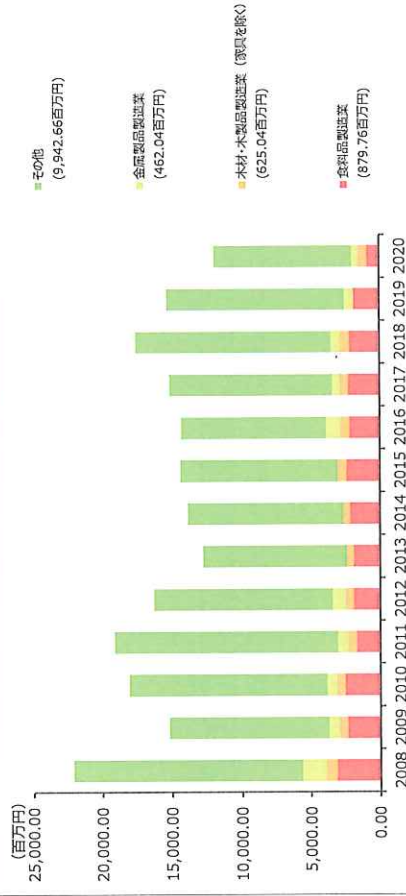
【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

② 産業別製造品出荷額等の変化

産業構造マップ>製造業>製造業の概観 → ②「産業構造変化分析 (特定年間)」

・産業中分類別の製造品出荷額等の推移を示しています。
・出荷額の大きな産業の把握や各産業における製造品出荷額等の増加・減少傾向を概観できます。

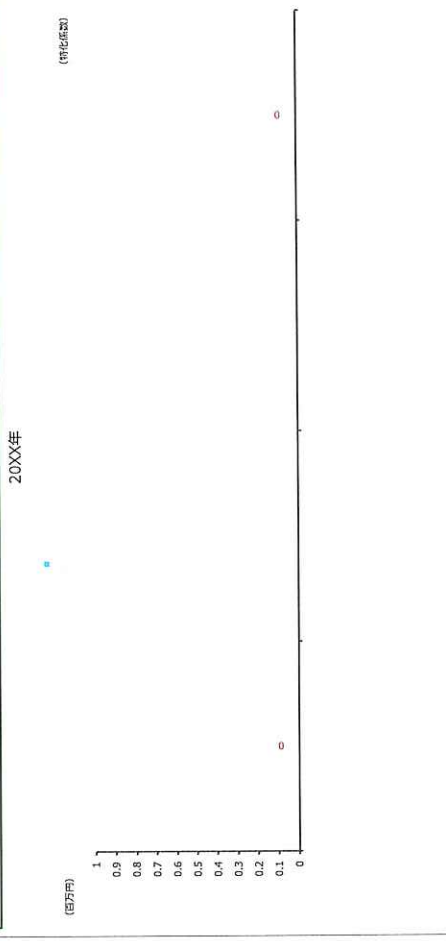


【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【注】 凡例の数値は最新年の数値を指す。
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

④ 産業中分類別製造品出荷額等

産業構造マップ>製造業>製造品出荷額等 → (ダウンロードデータは作成)

・自地域において出荷額規模の大きな産業を概観します。出荷額が大きく、かつ特化係数が1より大きな産業は、規模・構成比の両面で主要な産業となります。



【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

各論③ 産業特性（小売業）

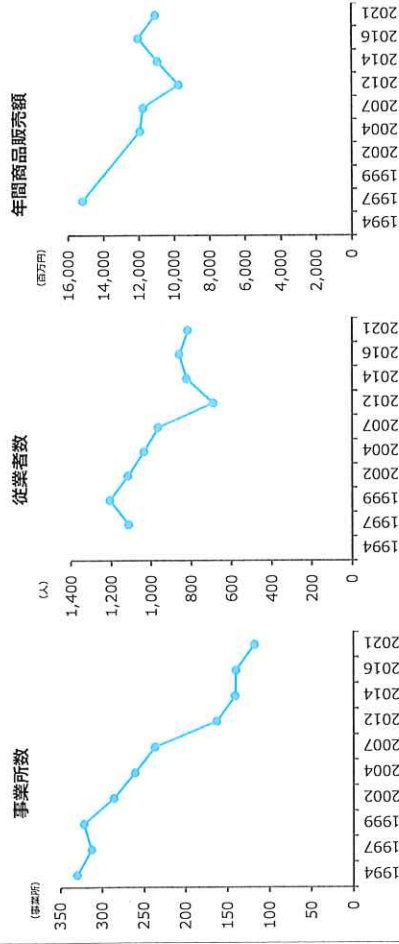
小売業の特徴を、規模・稼働率・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

熊本県芦北町

① 事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商賣の概観 → ①「産業構造変化を分析」

・小売業全体の事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移を概観します。

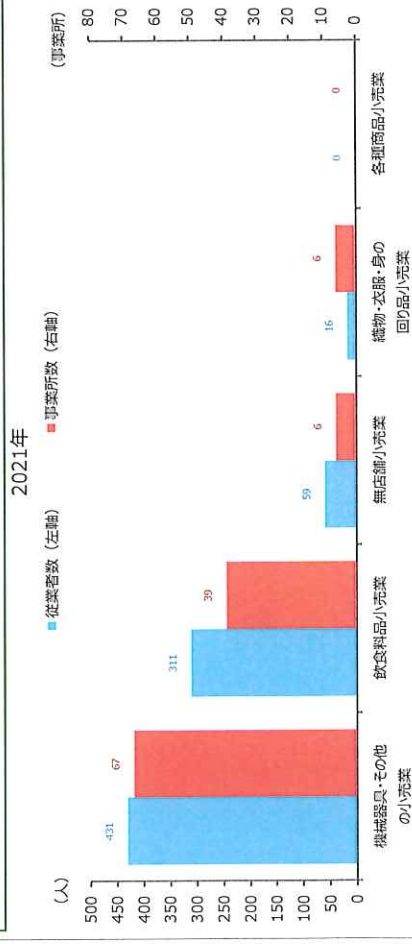


【出典】経済産業省「商業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
 【注記】2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

③ 産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商賣の概観 → (タワンドラード作成)

・地域小売業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。



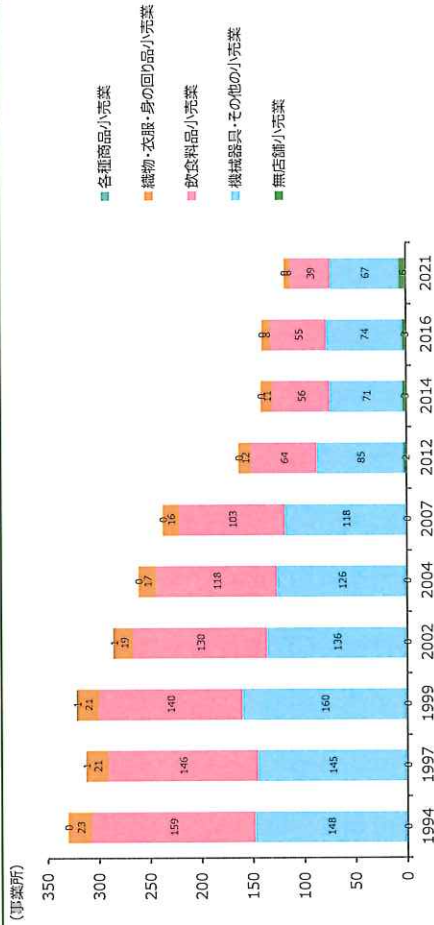
【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

② 産業別小売業事業所数の変化

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商賣の概観 → ②「産業構造変化を分析」

・小売業の事業所数推移を産業中分類別に示しています。
 ・事業所数の多い産業の把握や各産業における事業所数の増加・減少傾向を概観できます。



【出典】経済産業省「商業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
 【注記】2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

④ 産業中分類別年間商品販売額

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商賣の概観 → (タワンドラード作成)

・産業中分類別の年間商品販売額の構成比から、地域において販売額規模の大きな産業を概観します。
 ・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

各論④ 産業特性（農業）

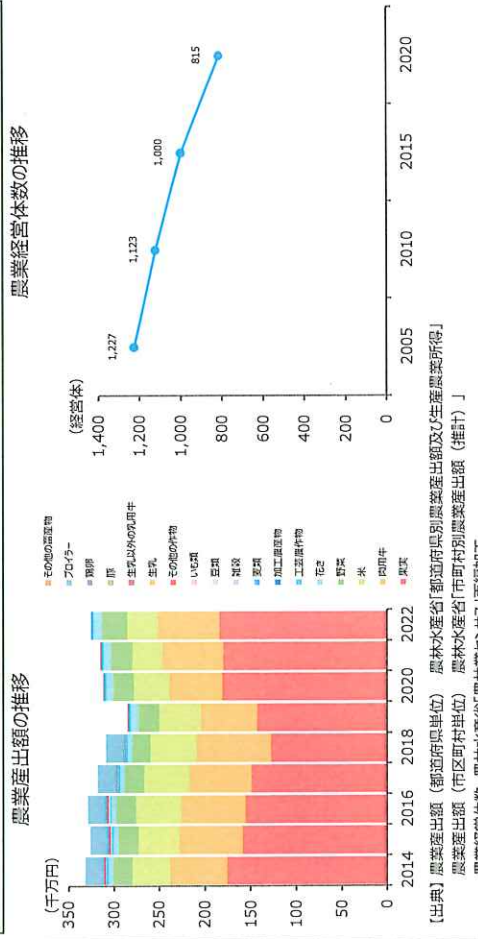
品目別農業産出額、就業人口、経営体規模等の観点から農業の特徴を概観します。

熊本県芦北町

① 農業産出額・農業経営体数の推移

産業構造マップ>農業>農業産出額 及び地域分析 → (9/ワンロードデータより作成)

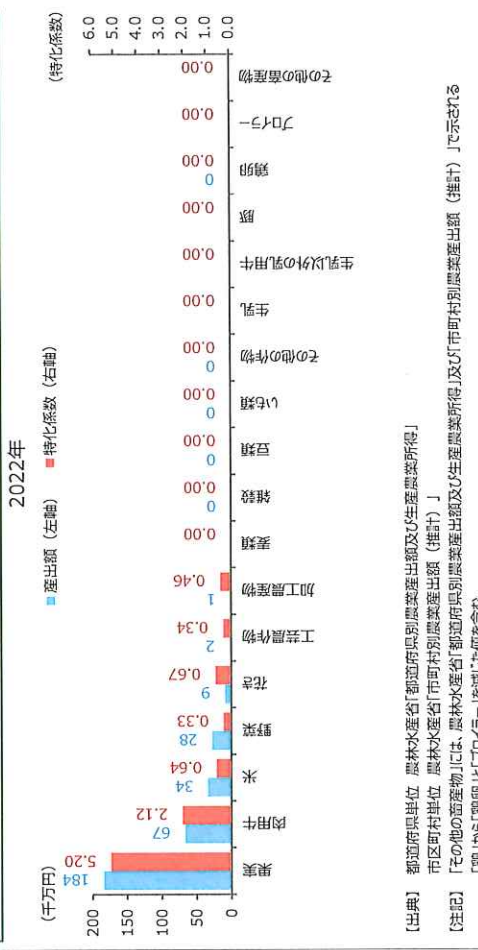
- ・農業産出額および農業経営体数の推移を表示しています。
- ・自地域における農業生産の拡大・縮小傾向を把握できます。



② 品目別農業産出額

産業構造マップ>農業>農業産出額 → (9/ワンロードデータより作成)

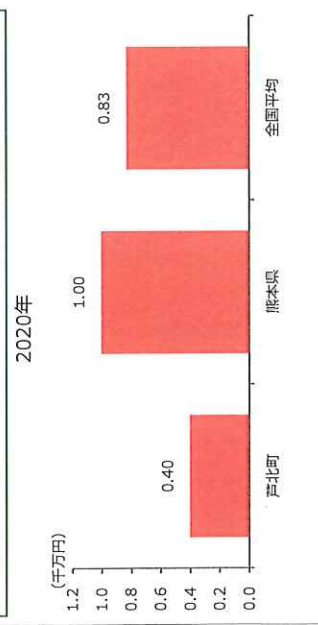
- ・品目別の農業産出額の構成比から、自地域において生産の大きな品目を概観します。
- ・産出額が大きく、かつ特化係数（自地域における品目Aの農業産出額構成比÷全国における品目Aの農業産出額構成比）も高い品目は、産出額・構成比の両面で特徴的な品目と言えます。



③ 経営体あたりの農業産出額（地域間比較）

産業構造マップ>農業>農業産出額 → ト「グラフ」を表示

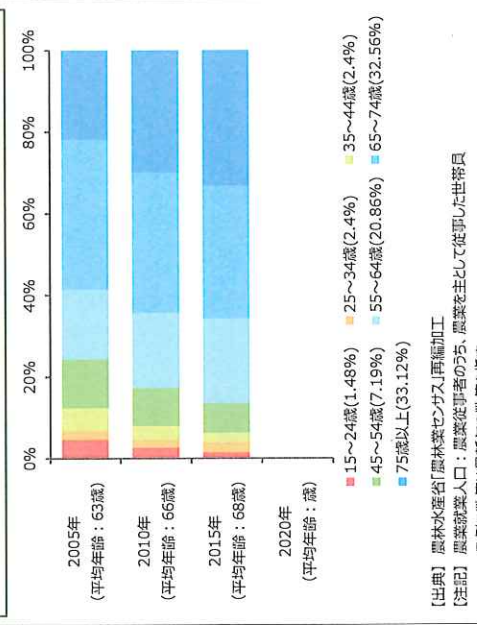
- ・経営体あたりの農業産出額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の農業の生産性の高低を概観できます。



④ 年齢階級別農業就業比率と平均年齢

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (9/ワンロードデータより作成)

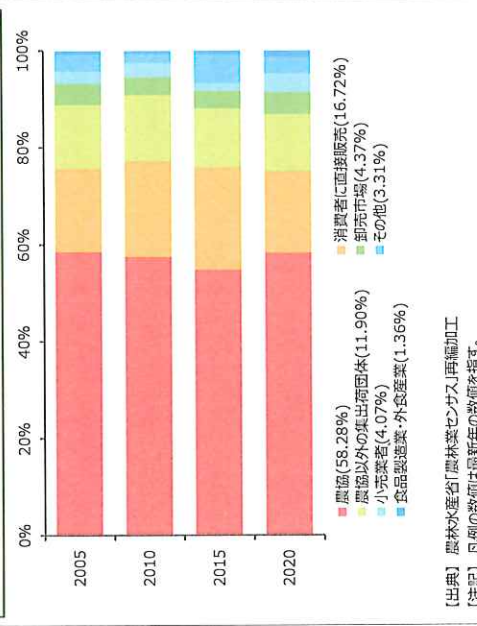
- ・年齢階級別にみた農業就業比率を概観します。
- ・農業の担い手の高齢化等の状況を確認できます。



⑤ 農産物の出荷先別経営体数割合の推移

産業構造マップ>農業>農産物分析 → (9/ワンロードデータより作成)

- ・農産物の出荷先別にみた経営体の構成比を比較します。
- ・自地域の農産物がどこに出荷されているかを概観できます。



※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

各論⑤ 産業特性 (林業)

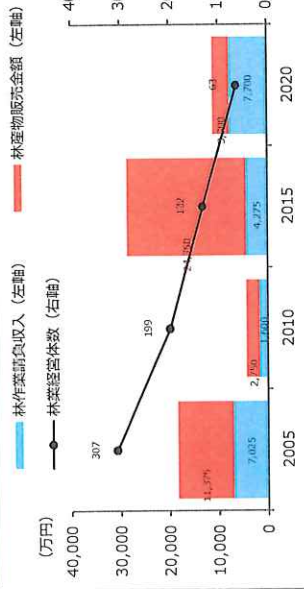
林業総収入・経営体数の推移、林業部門別経営体数等の観点から林業の特徴を概観します。

熊本県芦北町

① 林業総収入・林業経営体数の推移

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (9)ダウンロード>2017年作成

- ・林業総収入と林業経営体数の推移を表示します。
- ・林業の拡大・縮小傾向を、総収入と経営体数の変化から概観します。

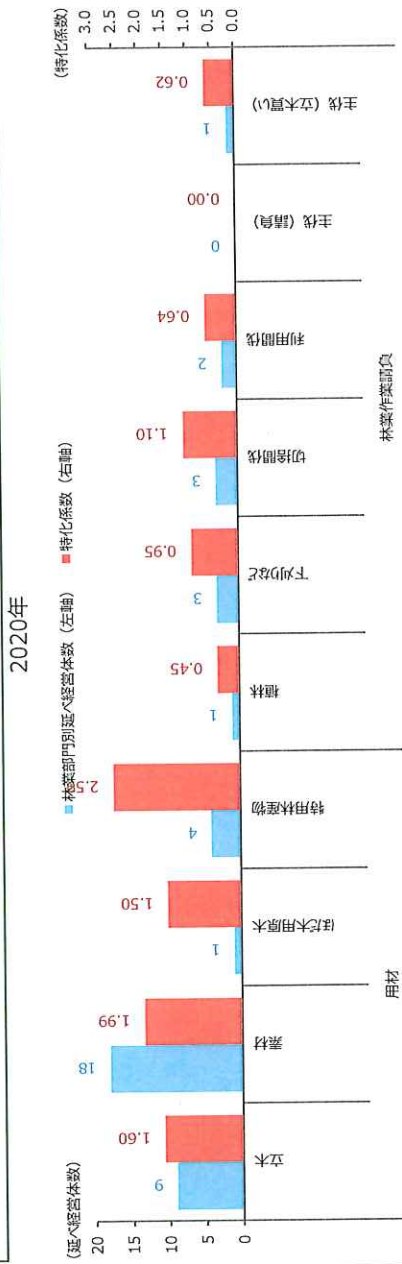


【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】林業総収入 = 林産物販売金額 + 林業作業請負収入
 林産物販売金額 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体数)
 林業作業請負収入 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体数)
 最上位層の中位数は7億円として推計。
 「林業作業請負収入」には、農林業センサスにおける受託料収入を指す。
 林業作業請負収入は、農林業センサスにおける受託料収入をい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

② 林業部門別延べ経営体数

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (9)ダウンロード>2017年作成

- ・各林業部門の販売・請負を行った延べ経営体数を概観します。
- ・特化係数(自地域における部門Aの延べ経営体数比率 ÷ 全国における部門Aの延べ経営体数比率)が1よりも大きな部門は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な部門といえます。

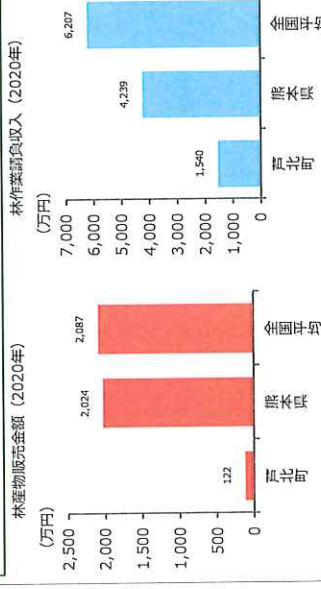


【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

③ 経営体あたり林業収入 (地域間比較)

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (9)ダウンロード>2017年作成

- ・経営体あたりの林産物販売金額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の生産性の高低を概観できます。



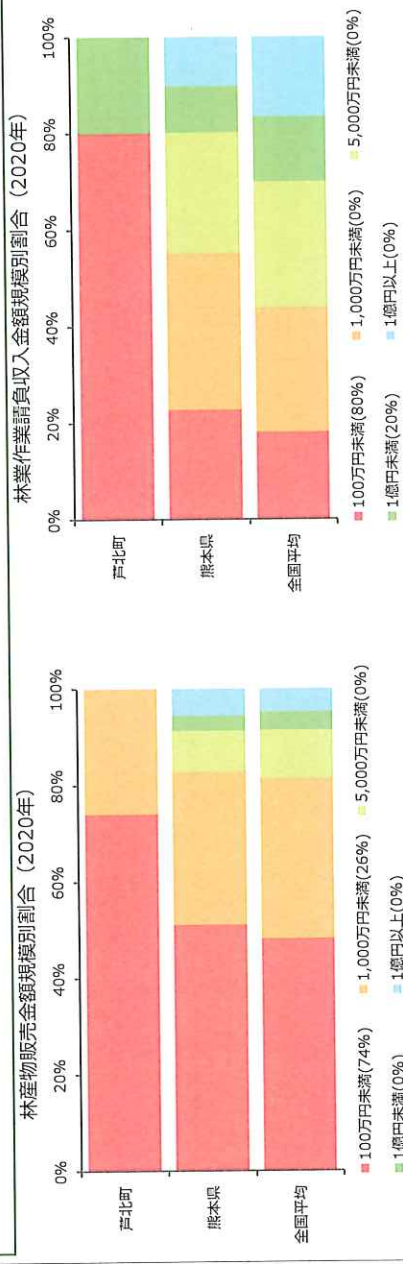
【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】林業総収入 = 林産物販売金額 + 林業作業請負収入
 林産物販売金額 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体数)
 林業作業請負収入 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体数)
 最上位層の中位数は7億円として推計。
 「林業作業請負収入」には、農林業センサスにおける受託料収入を指す。
 林業作業請負収入は、農林業センサスにおける受託料収入をい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④ 林産物販売金額帯別経営体割合および林業作業請負収入金額帯別経営体割合 (地域間比較)

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (9)ダウンロード

- ・林産物販売金額および林業作業請負収入金額についての経営体割合を地域間で比較します。
- ・自地域の林業経営体の経営規模を販売額の大きさの観点から概観できます。



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】林業作業請負収入とは、農林業センサスにおける受託料収入を指す。林業作業請負収入は、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。
 凡例の数値は選択地域の数値を指す。

各論⑥ 産業特性 (水産業)

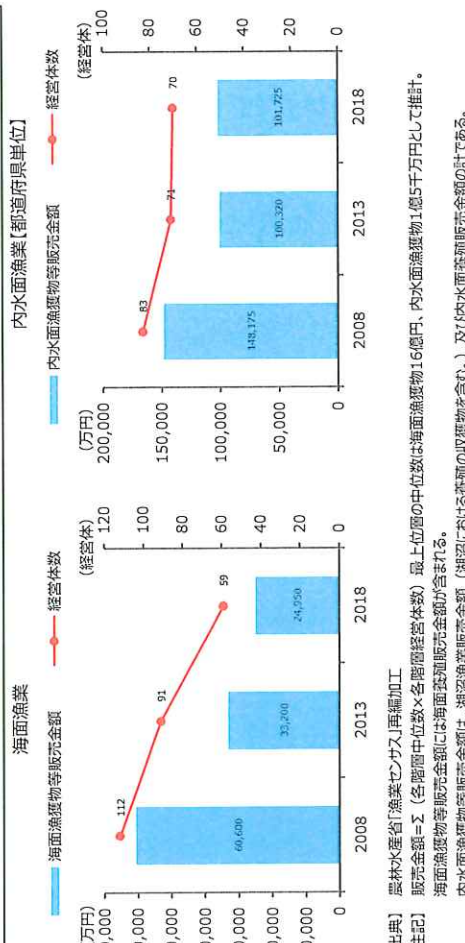
海面・内水面漁業の特徴を、販売金額・経営体数等により概観します。

熊本県芦北町

① 漁獲物等販売金額・漁業経営体数の推移

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)

海面漁獲物等販売金額と経営体数、および内水面漁獲物等販売金額と経営体数の推移を表示しています。
・拡大・縮小傾向を、販売金額と経営体数の変化から概観します。

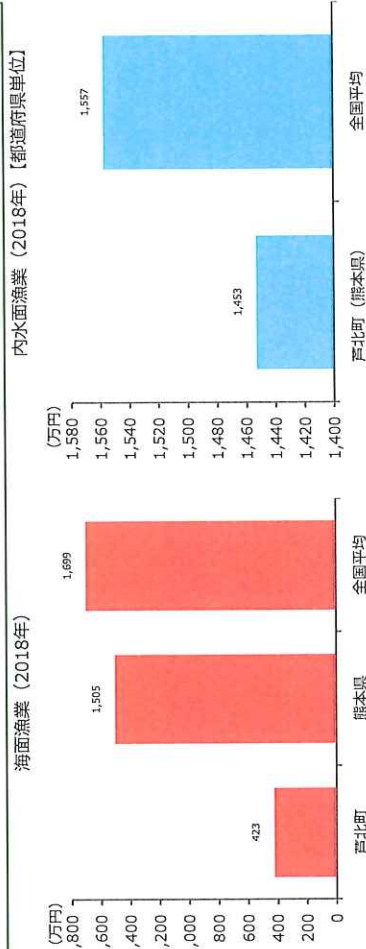


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
【注記】 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面産品販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額(湖沼における養殖の収穫物を含む。)及び内水面養殖販売金額の計である。

② 経営体あたり漁獲物等販売金額 (地域間比較)

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)

海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、経営体あたりの漁獲物等販売金額と比較します。
・自地域の水産物の生産性の高低を概観できます。

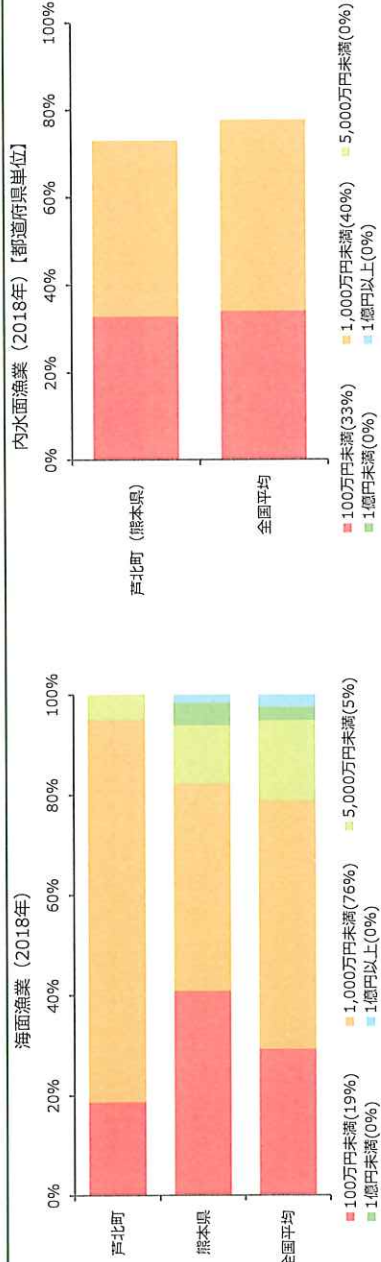


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
【注記】 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面産品販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額(湖沼における養殖の収穫物を含む。)及び内水面養殖販売金額の計である。

③ 漁獲物等販売金額別経営体割合 (地域間比較)

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)
産業構造マップ>水産業>内水面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)

海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、漁獲物等販売金額帯別にみた経営体の構成比を地域間で比較します。
・自地域の経営体の経営規模を販売額の大きさの観点から概観できます。



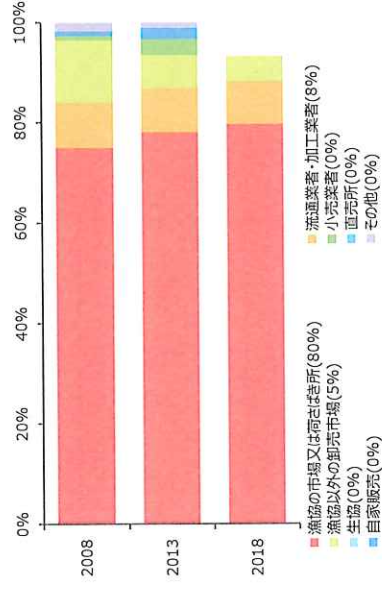
【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
【注記】 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層の中位数は海面漁獲物16億円、内水面漁獲物1億5千万円として推計。
海面漁獲物等販売金額には海面産品販売金額が含まれる。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額(湖沼における養殖の収穫物を含む。)及び内水面養殖販売金額の計である。
凡例の数値は自地域の数値を指す。

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④ 海面漁獲物等出荷先別経営体数の割合

産業構造マップ>水産業>海面漁獲物等販売金額 → グラフを表示 (クワンコーポレーター制作版)

海面漁獲物の出荷先別経営体数割合の推移を示しています。
・販路拡大、流通チャネル分析等の基礎となる情報です。



【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

①(日本人)休日14時に指定地域に滞在した人口の居住都道府県別割合

まちづくりマップ>From-to分析(滞在人口) → 「グラフを表示」

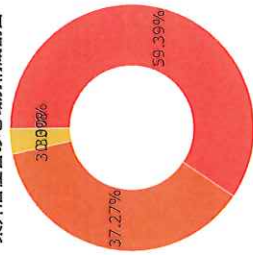
- ・休日14時に自地域に滞在した県外居住者について居住都道府県別構成比を示しています。
- ・休日中にどこからの訪問客が多いのかを把握できます。

滞在人口合計：12,648人 (うち県外居住者：330人 県外割合：2.61%)

(2023年6月・休日14時)

- 1位 鹿児島県(1,196人)
- 2位 福岡県(1,233人)
- 3位 宮崎県(111人)
- その他(0人)

県外居住者の地域別構成割合

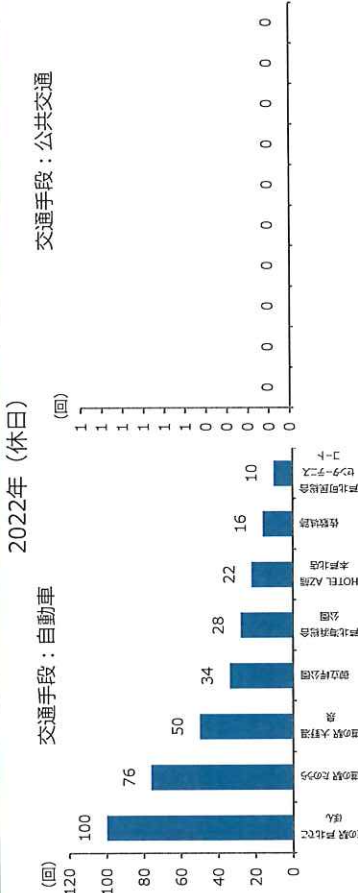


【注記】滞在人口とは、指定地域の指定時間(4時、10時、14時、20時)に滞在していた人数の月間平均値(平日・休日別)を表している。
 滞在人口率は、滞在人口(株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング)モバロ(空間情報)と、国勢調査人口(総務省「国勢調査」(密閉人口))で表される。
 15歳以上90歳未満の人口を対象。
 携帯電話の運用データについては国語に関わらず契約者のデータが使用されていることから、滞在人口の算出には国内に居住する外国人も含まれている。

②観光施設等を目的とした検索回数ランキング

観光マップ>目的的分析 → 「目的地域検索ランキングを表示」

- ・自地域の観光施設等で、経路検索サービスにおいて目的地として検索された回数が多いものを表示します。
- ・自地域において集客力のある観光施設を把握できます。



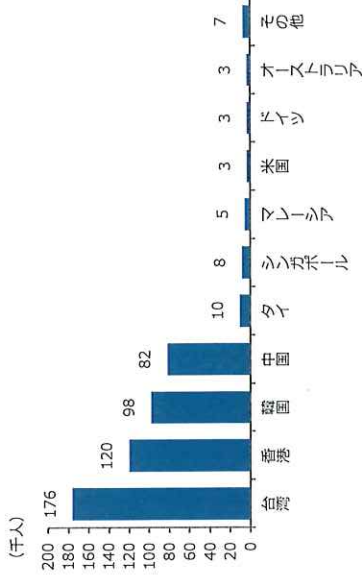
【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」
 【注記】検索回数は、向一ユーザーの直近を限った月間のユーザー数。下記条件に全て該当した場合のみ表示。
 ・施設情報が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が促されるレジャー施設や商業施設に該当
 ・年間検索回数が自動車は30回、公共交通は30回以上
 ・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

③(外国人)指定地域への国・地域別外国人訪問客数(都道府県単位)

観光マップ>外国人訪問客分析 → 「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人訪問客数を国・地域別に示しています。
- ・どこからの訪問客が多いのかを概観できます。

2019年



【出典】観光庁「訪日外国人消費動向調査」(UNTO)「訪日外客数」
 【注記】「地域別の訪日外客数」=地域別の訪問客(観光・レジャー目的)※訪日外客数×旅行目的別構成比(観光・レジャー目的)に由来している。

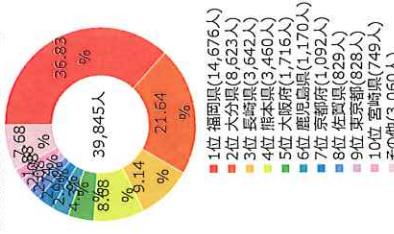
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

④(外国人)指定地域への移動相関分析(都道府県単位)

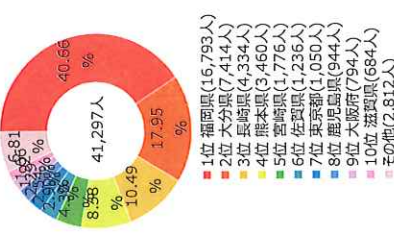
観光マップ>外国人移動相関分析 → 「グラフを表示」

- ・自地域に滞在した外国人訪問客が、直前・直後に滞在していた地域を示しています。周遊ルート等の検討に活用できる情報です。

直前に滞在した地域(2022年)



直後に滞在した地域(2022年)



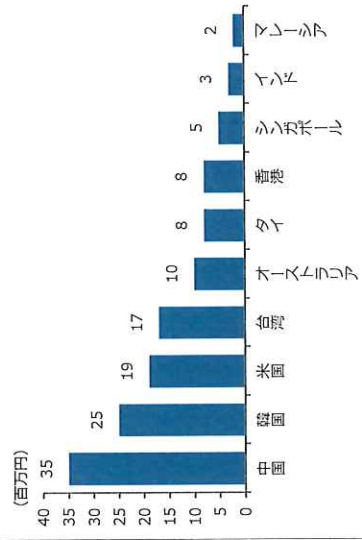
【出典】国土交通省「FF-Data(訪日外国人流動データ)」

⑤(外国人)指定地域内での国・地域別消費額(都道府県単位)

観光マップ>外国人消費の比較(クレジットカード) → 「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人によるクレジットカード消費額を国・地域別に示しています。
- ・どの国・地域からの訪問客による消費が活発なのかを概観できます。

2022年9月



【出典】ビザ・ワールドワイド・ザリヤに株式会社のカードデータを再編加工
 【注記】消費額は、外国人訪問客がクレジットカードを使用した消費額を地域別のシェア率等から算出した金額。
 国・地域は、カード所有者の居住地であるため、観光客以外の永住者・定住者による消費額も含まれる。

各論⑧ 雇用

有効求人倍率、一人当たり賃金の地域間比較・産業間比較等から雇用の特徴を概観します。

熊本県芦北町

①有効求人倍率の推移【都道府県単位】

こちらのデータは現在提供を中止しております

②有効求人倍率（職種間比較）【都道府県単位】

こちらのデータは現在提供を中止しております

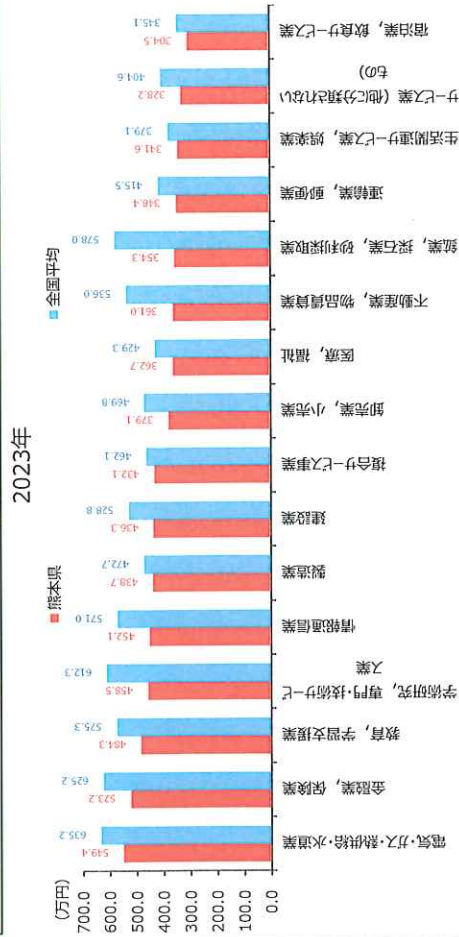
③有効求人倍率推移（地域間比較）【都道府県単位】

こちらのデータは現在提供を中止しております

④一人当たり賃金（産業間比較）【都道府県単位】

産業間比較でワケ>雇用>一人当たり賃金 → グラフを表示

・産業別に一人当たり賃金を比較します。
・また、全国平均との比較により、全国よりも賃金水準の高い産業・低い産業を概観できます。



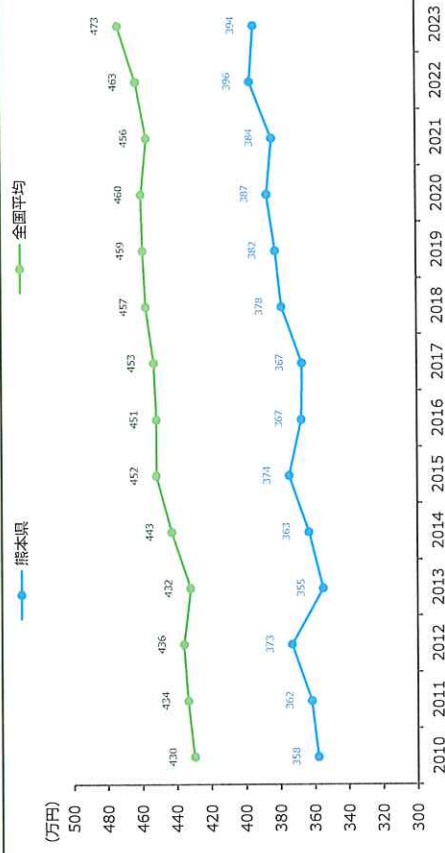
【出典】厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

⑤一人当たり賃金（地域間比較）【都道府県単位】

産業間比較でワケ>雇用>一人当たり賃金 → グラフを表示

・一人当たり賃金を地域間で比較します。
・自地域における賃金の傾向把握の他、賃金に関する政策実施が与えた影響等の把握に利用できます。



【出典】厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※本サイトのグラフは、すべて都道府県単位の数値となります。

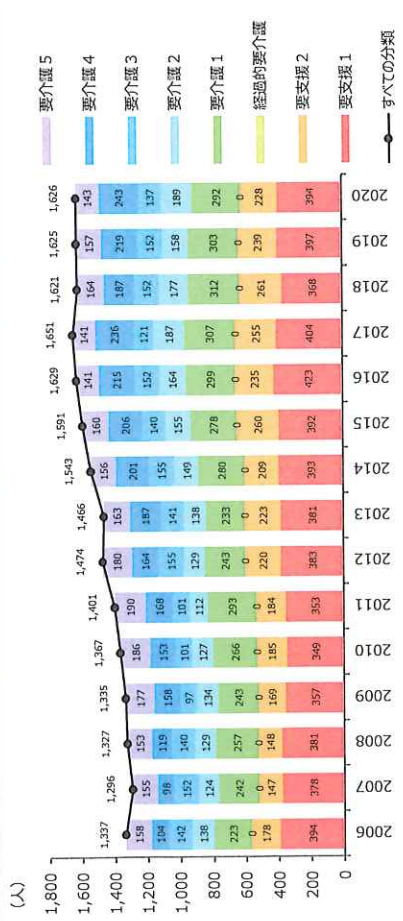
各論⑨ 医療・福祉

医療数・病床数・介護施設数等の供給水準の面から医療・福祉の特徴を概観します。

熊本県芦北町

① 要介護（要支援）認定者数の推移【保険者単位】

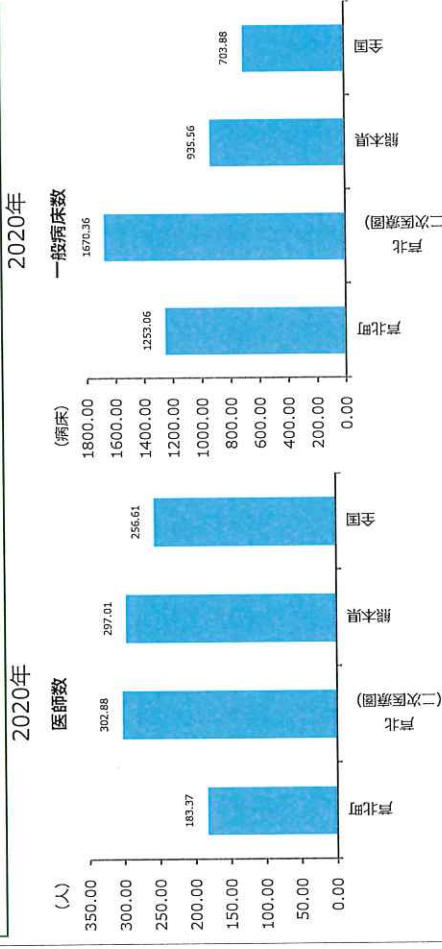
・福祉サービス等の検討において重要な検討材料となる要介護（要支援）認定者数の推移を示しています。



【出典】厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」
 【注記】要介護（要支援）認定者数は、介護保険における要介護認定制度に基づき介護サービスの利用が必要であると認定された者。
 要介護認定制度及び要支援・要介護度（要支援1～要介護5）の区分については、下記URLを参照のこと。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kaigo/kaigo_koureisha/ninte/index.html

② 人口10万人あたり医師数・一般病床数（地域間比較）

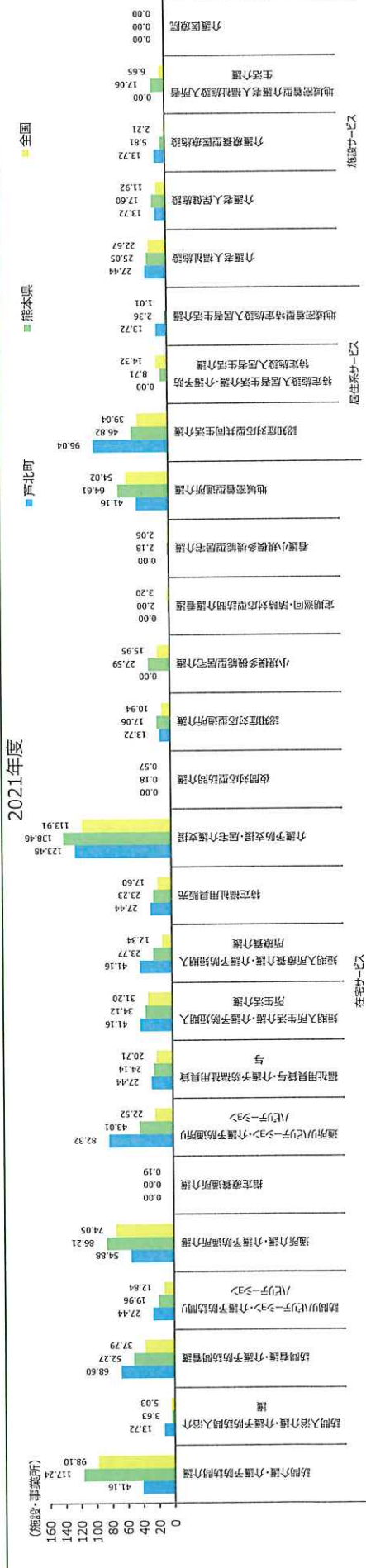
・人口10万人あたりの医師数・一般病床数を示しています。
 ・全国および他地域と比較することで、自地域の水準を把握できます。



【出典】厚生労働省「医師施設調査」、医師・歯科医師・薬剤師統計（2016年まで）、「医師・歯科医師・薬剤師統計」（2018年から）、「衛生行政報告例」・「患者調査」・総務省「人口推計」・「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 【注記】対象地域が市区町村単位の場合：グラフは、対象地域、対象地域の属する二次医療圏、都道府県、全国の値と比較している

③ 65歳以上人口10万人あたり介護施設数・事業所数（サービス種別・地域間比較）

・施設・居住系・在宅サービスの供給水準として、65歳以上人口10万人あたりの介護施設数・事業所数をサービス種別に表示しています。
 ・全国水準等と比較することで、自地域の水準を把握できます。

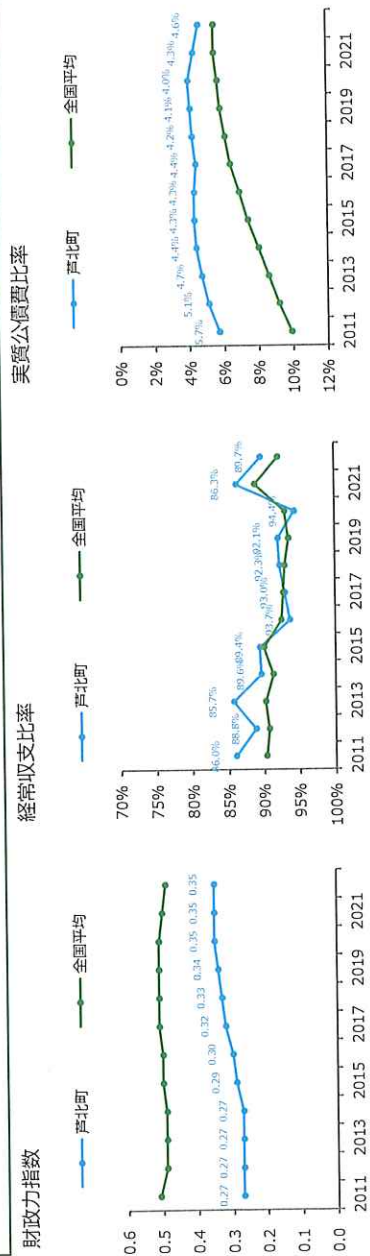


【出典】厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」・「介護サービス施設・事業所調査」
 総務省「人口推計」・「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 【注記】グラフは、対象地域、都道府県、全国の値と比較している。

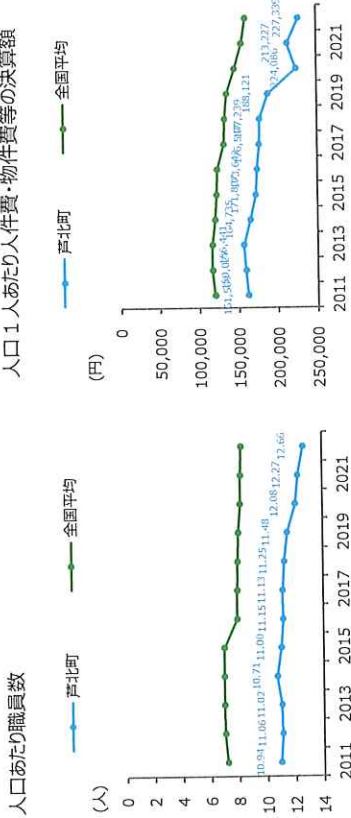
※表示対象データがない場合、グラフは作成されません。

① 各種財政指標の比較分析

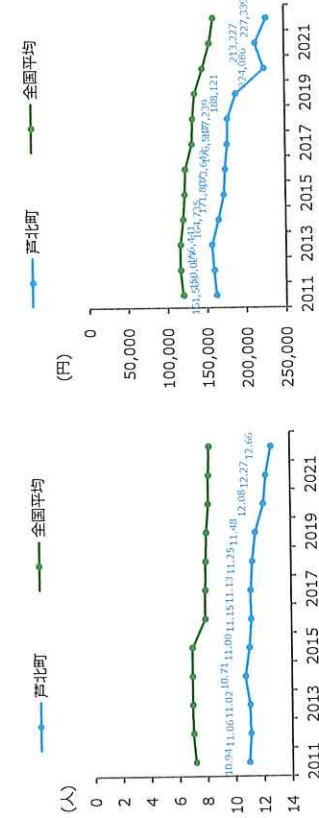
・自治体の財政状況を示す主要な財政指標（財政力指数、実質公債費比率等）の推移を示しています。
 ・全国平均との比較を行うことで、自地域の財政状況の健全度を分析することができます。



人口1人あたり職員数



人口1人あたり人件費・物件費等の決算額



ラスパイレス指数

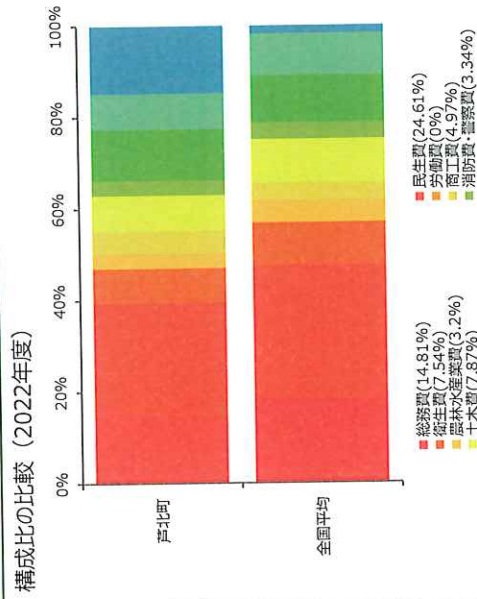
財政指標	2022値	順位
財政力指数	0.35	都道府県内 21/45
経常収支比率	89.7%	28/45
実質公債費比率	4.6%	3/45
将来負担比率	0.0%	15/45
人口あたり職員数	12.66人	31/45
人口1人あたり人件費物件費等の決算額	227,339円	25/45
ラスパイレス指数	93.8	13/45

【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」
 【注記】人口あたり職員数・都道府県の場合は人口10万人、市町村（特別区を含む）の場合は人口千人あたりの職員数。

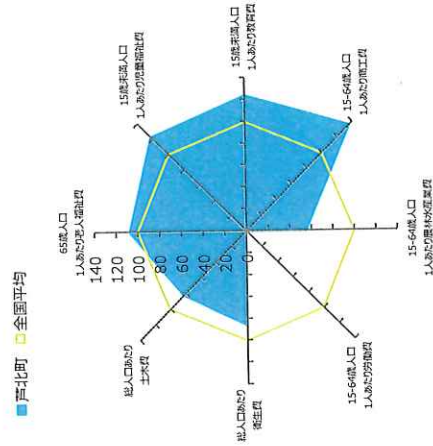
② 目的別歳出決算額の比較

地方財政マップ>自治体財政状況の比較 → ②「目的別歳出決算」

・自地域の歳出額を目的別に示しています。構成比および人口あたり水準の面から、自地域の歳出構成の特徴を概観することができます。



人口あたり水準の比較 (2022年度)



【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯調査」
 【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。